



東京都の病院・お医者さん・口コミ情報サイト

東京ドクターズ
tokyo-doctors.com

INTERVIEW
インタビュー



東京ドクターズに、にじいろ歯科医院が練馬区で最初に取り上げられました。

■お二人がこの道を志したきっかけと、これまでの経緯をお聞かせください。

【齊間 広憲 院長】

実家は美容室だったものですから、会社勤めをするというより、何かしら独り立ちをしていけるようにと育てられました。歯科医師を志すようになったのは、その選択肢の中で、「人の役に立てるように...」という気持ちからです。

実際に今こうして歯科医師となってみて、その責任の重さを痛感する毎日です。自分の実力以上のことは出来ず、それでいて自分の能力がそのままその方の人生に直結するわけですから。日々努力を続けて、やりがいのある仕事を全うしていきたいと考えています。

2014年の1月に『にじいろ歯科医院』を開院致しました。私はこれまで、お子さんからご年配の方まで幅広い世代の多岐に渡る歯科治療に携わってきました。その過程で培ってきた私の思いを具現化したものが、ここにあると考えています。

【齊間 昌 歯科医師】

父が歯科医師であったことが大きなきっかけになりました。父からは「好きな道に進みなさい」と言われて育ったのですが、様々なことに興味が揺れながら、最終的に「何になりたいのか」と真剣に考え、目の前に残ったのが、父と同じ道を歩むことでした。学校の帰り道、父の仕事場で時間を過ごすことも多く、そこで見た診療に励む父の姿が心のどこかに色濃く残っていたんでしょうね。

歯科医師になってみて大変なことは多いのですが、患者さんとのふれあいによって生きていることを強く実感しています。その意味でも、この仕事に導いてくれた両親に深く感謝したいですね。



■『にじグラム（にじいろプログラム）』について教えてください。

【齊間 広憲 院長】

『にじグラム』とは、「20歳まで虫歯ゼロ」を目標におこなう教育プログラムです。3歳の子、6歳の子、など、その子の年齢に応じた口腔衛生指導や健康指導を系統立てて伝えていくことにより、お口の健康を末永く保っていくことを目的としています。三つ子の魂百まで、と言いますが、まさにその通り、小さい頃から身につけた正しい習慣がその子の一生を守り続けていくことになるのです。このプログラムは私たち歯科医師だけの努力では、本当の目的に到達することは出来ないと考えています。さしあたって現在、栄養士さんのご協力を仰ぎ、食育についてのプログラムを作成中です。今後、多方面に渡る業種の方々の助けを得て、『にじグラム』をより身近なものとしていけるようにと考えています。私とてまだまだ若輩ですが、このプログラムを柱とし、新しい歯医者さんの形を示せていければと考えています。

■治療に関して、心掛けていることを教えてください。

【齊間 広憲 院長】

予防歯科への取り組みと同様、治療に関しても年齢に応じたポイントがあり、それを踏まえた上で最短ルートで終了する治療計画をご提案していきたいと思っています。最小限の来院数、最小限の侵襲による、回り道をしない計画ですね。それにより、患者さんへの様々な負担を少なくすることが可能になります。



【齊間 昌 歯科医師】

診療記録（カルテ）、および診療報酬明細（レセプト）の開示はもちろんです、治療の選択肢もまた全て開示していきたいと思っています。そこに、保険診療・自費診療の区別をするつもりはありません。この方法にはこういうメリットがあり、このようなデメリットがある。もっと良い治療があるのに、手間を惜しむかのように説明すらないというのは、医療に携わるものの姿勢として公平を欠くのではないのでしょうか。全てを説明し、その上で患者さんに選んでいただきたいと私たちは考えています。

■わかりやすい説明が好評だとうかがっていますが？

【齊間 広憲 院長】

治療方法の選択も含め、当院では図解入りのわかりやすい資料にして皆様にお渡ししています。例えば、「おやつの注意」、あるいは、「母子感染への注意」等々。おうちの冷蔵庫に、「砂糖はスティックシュガー3本分まで」と書かれてあるのが貼ってあれば、お子さんの注意もそれに向かいますよね。母子感染の危険性が述べてあるものがテーブルにあれば、おじいちゃんやおばあちゃんとそのことについて話し合うようになるかもしれません。1枚の紙が、皆様の普通の生活にプラスアルファをもたらすようになれば幸せに思います。

■最後に地域の皆様にメッセージをお願い致します。

【齊間 広憲 院長】

「0歳～100歳まで通える歯科医院」をコンセプトに、ベビーカーや車椅子で来院される方々もご不自由なく利用していただけます。また、ユニットごとにカラーで色分けされた診察室は、子ども達が目で見て楽しめるようなデザインとなっています。

本当に遊びの延長のつもりで、ふらっといらしてみてください。ここで楽しく過ごした時間が、その子の、そしてあなたの人生を変えることを私は確信しています。食べることの大切さ、健康であることの大切さを皆さんと共に考えていきたいと思っています。

※上記記事は2014.5に取材したものです。

情報時間の経過による変化などがございます事をご了承ください。